

新学習指導要領全面実施チェックリスト（小学校編）



日々の教育活動において大切にすべきことをチェックリストにしました。新学習指導要領の実施に伴って、以下の項目を意識して取り組みましょう。チェックが入らない項目については、改善策を検討しましょう。

全体計画や各教科等の指導計画等 *法令で必須と定められている	
道徳教育の全体計画が作成されている	*H30年度から実施
総合的な学習の時間の全体計画が作成されている	*H30年度から実施
特別活動の全体計画が作成されている	*H30年度から実施
各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等の指導計画が作成されている	
すべての学年においてキャリア・パスポートを活用している	
授業づくり（子どもたちが「わかった」「できた」を実感できる授業づくり）	
45分間で授業設計をしている	
本時のねらいに対応した「めあて」を設定している	
十分な適用題の時間を確保し、すべての児童を「おおむね満足できる状況」に到達させている	
児童に本時の学びを自覚させ、次時につながる振り返りを行っている	
（国語）育成すべき資質・能力を明確にしている	
（国語）言語活動を明確に位置付けた単元を構成している	
（国語）適切な評価規準と評価方法を設定している	
小学校における外国語教育	
コミュニケーションを図る目的・場面・状況等を明確にした言語活動を設定している *言語活動とは、実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動	
単元終末段階の児童に望む具体的な姿のイメージをもち、実態に応じて単元を見通した課題設定をする *単元のゴールを明確にし、「バックワードデザイン」で授業設計	
外国語科における「読むこと」「書くこと」は慣れ親しむ段階であることを理解している	
中学校への接続を意識した授業を行い、日頃から小中連携を図っている	
小学校におけるプログラミング教育	
すべての教師がプログラミング教育のねらいを理解している	
プログラミング教育を実施するすべての教師が模擬授業体験や研修参加を体験している	
全体計画等で、プログラミング教育を実施する学年・教科等を共通理解している	
（プログラミング教育のねらい）	
①「プログラミング的思考」を育むこと	
②プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることなどに気付くことができるようにするとともに、コンピュータ等を上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと	
③各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、各教科等での学びをより確実なものとする	
小学校におけるICT活用教育	
一斉指導による学び（一斉学習）にICTを活用している	
児童がICTを活用して学習する場面を設定している	